

## 1. 概要／目的

### 1) 概要

本手順書は、「HotSpot for NoraGateway」や「DVMEGA インターフェース」を使用するにあたり、ICOM のハンディ機である ID-31 や ID-51 の「DV メモリー」の設定手順を記載しています。

### 2) 目的

本手順書の目的は、ID-31 や ID-51 の DR モードを利用時に必要な DV メモリーの設定手順を解説しています。

### 3) DR モードとは

DR モードは、予め DV メモリーに登録した「レピーターリスト」から選択した内容を「FROM」に設定し、また「相手局コールサイン」から選択した内容を「TO」に設定することにより、「HotSpot for NoraGateway」や「DVMEGA インターフェース」に接続して QSO が可能になります。

## 2. 必要なもの

ICOM の ID-31 または ID-51。なお、本手順書では、ID-51 を使用して解説しています。

## 3. 手順書の構成

### 1) 周波数モードから DR モードへ変更

ID-31 や ID-51 の画面を周波数モードから DR モードへ変更する方法を記載します。

### 2) DV メモリーにおける「レピーターリスト」の設定手順

「HotSpot for NoraGateway」や「DVMEGA インターフェース」の周波数を DV メモリーに登録します。

### 3) DV メモリーにおける「相手局コールサイン」の設定手順

「HotSpot for NoraGateway」を ID-31 や ID-51 から制御するための、コマンドを登録します。

#### ① Unlink Reflector

接続中のレピーターやリフレクターを切断するコマンド。

#### ② Repeater Information

接続中のレピーターやリフレクターを教えてくれるコマンド。

#### ③ Use Reflector

山かけで接続した時に使用する CQCQCQ コマンド。

#### ④ JPtrsut

ならやまの自動応答など、レピーターに接続する状態にするためのコマンド。具体的には JARL の DSTAR サーバーへ接続します。

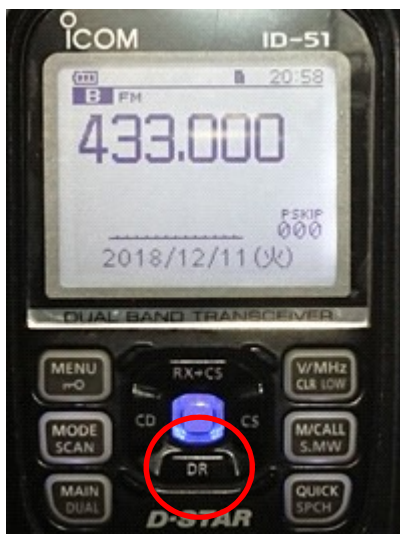
#### ⑤ IRCDDDB

リフレクターに接続する状態にするためのコマンド。具体的には、JARL の DSTAR サーバーの負担軽減のため接続を停止します。

## 4. 設定手順（周波数モードから DR モードへ変更）

1) ID-31 や ID-51 で DR モードへ変更する手順です。

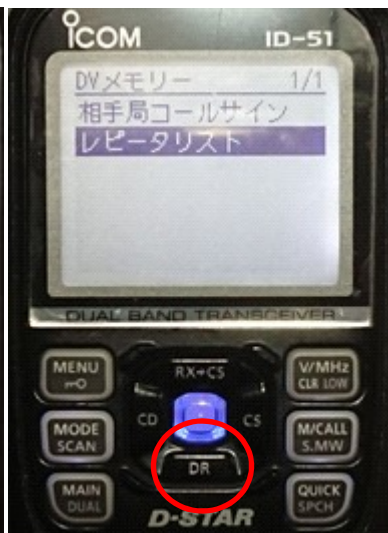
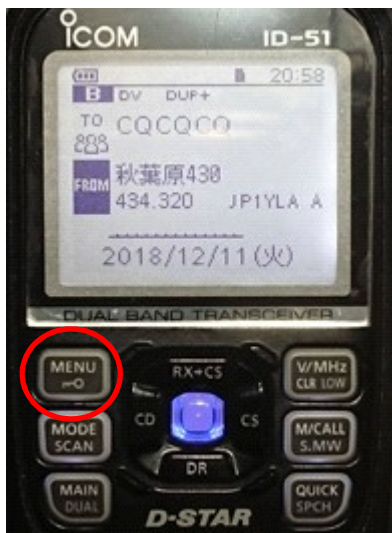
- ① この画面は周波数モードの画面です。      ② 赤丸の DR ボタンを押します。      ③ DR モード画面です。



## 5. 設定手順（DV メモリーにおける「レピータリスト」の設定手順）

1) 「レピータリスト」へ周波数をメモリー設定する手順です。

- ① MENU ボタンを押します。      ② 「DV メモリー」で決定ボタンを押します。      ③ 「レピータリスト」を選択します。



④ DR ボタンを押してカーソルを次画面まで動かします。



⑤ 「11: シンプレックス」で決定を押します。



⑥ 「QUICK」キーを押してメニューを表示します。



⑦ 「追加」を選択します。



⑧ 「ネーム」で決定します。



⑨ ネームを入力します。



⑩ コールサインを入力します。



⑪ GW コールサインを入力します。

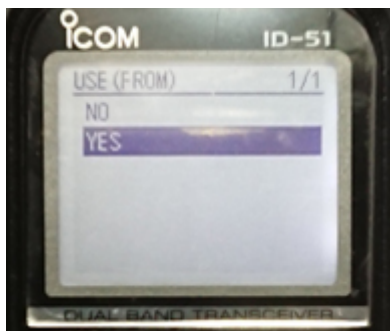


⑫ グループにシンプレックスを選択します。



【注意】上のコールサインと下の周波数はNoraGatewayのConfigと同じにします。

⑬ USE (FROM)は「YES」を選択します。



⑭ 周波数を入力します。



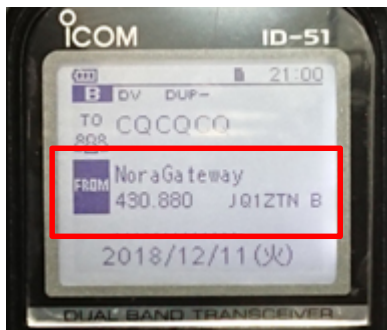
⑮ 「DUP-」を選択します。



- ⑩ オフセット周波数は「0」にします。
- ⑪ 「追加書き込み」を選択します。
- ⑫ メモリー登録後の画面です。



- ⑬ FROMにメモリーを選択した状態です。



## 6. 設定手順 (DV メモリーにおける「相手局コールサイン」の設定手順)

1) 「相手局コールサイン」の入力手順です。

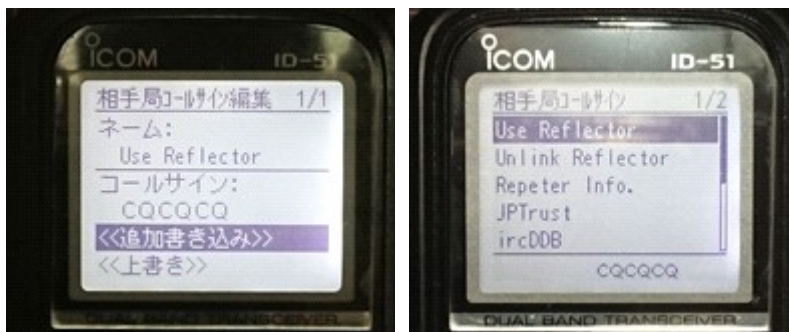
- ① MENU ボタンを押します。      ② 「DV メモリー」で決定ボタンを押します。      ③ 「相手局コールサイン」を選択します。



- ④ 「QUICK」ボタンを押します。      ⑤ 「ネーム」を選択し、名前を入れます。      ⑥ 「コールサイン」を選択し、コマンドを入力します。



- ⑦ 「追加書き込み」を押して保存します。      ⑧ 「相手局コールサイン」のリストに追加されます。



2) 「相手局コールサイン」にコマンドをDVメモリーへ登録します。【初期型 ID-31・ID-51 の場合】

①-1 「Use Reflector」を登録します。



①-2 コールサインの欄に「CQCQCQ」と入力します。



①-3 「Use Reflector」を設定した状態です。

②-1 「Unlink Reflector」を登録します。



②-2 コールサインの欄に「U」と入力します。  
12345678 7文字空白

②-3 「Unlink Reflector」を設定した状態です。



③-1 「Repeater Information」を登録します。



③-2 コールサインの欄に「I」と入力します。  
12345678 7文字空白

③-2 「Repeater Information」を設定した状態です。



【ID-31Plus・ID-51Plus の場合】最初からメニューに登録されています。

① この画面で決定を押します。

② メニューから「Reflector」を選択します。

③ この画面のとおり、予め登録されています。



3) NoraGateway 専用のコマンドを入力します。(新旧ハンディ機に登録します。)

①-1 「JPTrst」 への切り替えコマンドを登録します。



①-2 コールサイン欄へ  
「 **G2RJ**」と入力します。  
12345678 4文字空白

①-3 「JPTrst」 を設定した状態  
です。



②-1 「ircDDB」 への切り替えコマンドを登録します。



②-2 コールサイン欄へ  
「 **G2RI**」と入力します。  
12345678 4文字空白

②-3 「ircDDB」 を設定した状態  
です。



## 7. 改版履歴

1.0 版      2018年12月16日

・初版作成 (JH1TWX)

以上